

第3期第8、9回講座

被災者への配慮大切

受講生、支援の在り方思索

311 伝える／備える 次世代塾

東日本大震災の伝承と防災の担い手育成を目的に河北新報社などが開く通年の震災伝承講座「311『伝える／備える』次世代塾」第3期の第8回と第9回講座が10月26日、仙台市宮城野区の東北福祉大仙台駅東口キャンパスであった。第8回は「ボランティアの力」をテーマに講師2人が被災当初からの取り組みを紹介。第9回は通信対策、障害者支援、インフラ整備をテーマに講義をした。

第8回講座は、被災住宅の泥かきに奔走した元スコープ団長の平了さん(41)

◆第8回講座「ボランティアの力」のポイント

- 青空応援団団長(元スコープ団長) 平了さん
 - 証言: どんな支援が必要か、被災者に要望を聞く。泥かきならできると「友だち」名乗り被災地に
 - 訴え: 困っている人を助けるのに理由はいらない。身近な人の「ありがとう」を積み重ねて
- 農業軸に復興支援「リルーツ」代表 広瀬 剛史さん
 - 証言: ボランティアに被災者視点が欠けていた。被災者の信頼得て先を見通すことが大切
 - 訴え: ボランティアは媒介役である自覚持とう。地域資源を生かした街づくり考えよう
- NTTドコモ東北支社ネットワーク部長 池田 正さん
 - 【通信機器の災害対策】正しい情報見極めを。ポケット通信も活用してほしい
- 東北福祉大 総合福祉学部助教 阿部 利江さん
 - 【要援護者支援の課題】障害者の思いに向き合い。相互理解を進め地域で支える形を目指していこう
- 東北地方整備局 技術調整管理官 一戸 欣也さん
 - 【インフラの復旧・復興】復旧・復興を急ぐよう求められたが合意形成に時間を要した。備えが必要

由はならない。見て見ぬふりをせず、身近な人に手を差し伸べて」と訴えた。

続いて、学生ボランティアとともに、農業による復興支援に取り組み「リルーツ」代表広瀬剛史さん(45)が「当時のボランティアには被災者の視点が欠けていた」と指摘。「支援して終

が登壇し「震災まで、ボランティア経験がなく、被災者に聞きながら活動を始めた」と述べ。「人助けに理

講話後、受講生約60人はグループごとに講義内容を振り返り意見を発表した。災害ボランティアについて「いざ実践に移すには葛

藤がある」「気持ちが行動につながる」と戸惑う声があった一方で、「これからは被災者の立場を優先させて自分から動いていきたい」「どんな支援が必要なのか。声を聞き想像力を働かせていく」など活動に意欲的な意見も出た。

第9回講座は、復旧期を学ぶ第2フェーズの総括として3人が登壇した。

NTTドコモ東北支社ネ

ネットワーク部長の池田正さん(52)は、通信機器の災害対策を解説。「災害時は正しい情報を見極める必要がある。音声だけでなくポケット通信も活用してほしい」と強調した。

障害者など要援護者支援について、東北福祉大総合福祉学部助教の阿部利江さん(37)は「法改正により障害者の定義は拡大したが、支援の取り組みは浸透して

いない。障害者に向き合い、共に助け合う地域を目指そう」と話した。

国土交通省東北地方整備局技術調整管理官の一戸欣也さん(58)は、インフラの

復旧と復興をテーマに講義。「復旧を急ぐよう求められるが、合意形成など制度上の制約がある。次に備え、制度の見直しも必要だろう」と説明した。

受講生の声

担当の東北福祉大インターン生は次の通り(敬称略)。3年橋本瑚都▷2年大友唯衣、武藤有沙



活動意義を実感

学生時代にボランティアをやりたいたいという気持ちはあっても行動に移せませんでした。被災地で活

動した講師の話聞き、ボランティアの意義を実感しました。長期で関われる活動の機会があれば参加したい。(総務省東北管区行政評価局・間山優花さん・23歳)



学びを伝えたい

大学の教職課程に在籍していますが、授業で防災教育に触れる機会はありません。講話で学んだボ

ランティアの活動状況など被災地の現実を、将来、震災を経験していない子どもたちに伝えたい。(富谷市・尚綱学院大4年・文屋実さん・22歳)



相手の視点意識

ボランティアは周囲の評価が重要と学びました。自分も活動していますが、誰かに手を差し伸べる

この大切さを再認識しました。相手の視点での行動を意識しながら、目的を明確にして活動を続けたい。(仙台市若林区・宮城教育大1年・木村百花さん・18歳)

メモ 311『伝える／備える』次世代塾を運営する「311次世代塾推進協議会」の構成団体は次の通り。河北新報社、東北福祉大、仙台市、東北大、宮城教育大、東北学院大、東北工業大、宮城学院女子大、尚綱学院大、仙台百百合女子大、宮城大、学都仙台コンソーシアム、日本損害保険協会、みちのく創生支援機構。事務局は河北新報社防災・教育室。メール: jisedai@po.kahoku.co.jp